

あけ

ふろふいーる



小樽協会病院看護部長

川畑いづみ氏

瑞宝双光章を受章

北大病院で長年にわたり看護部の運営に尽力し、11月に瑞宝双光

章を受章した。「大きな看護の仕事を続けられたのは、病院と看護部付属看護学校を卒業後、同大病院に就職

患者参加型看護 北大病院で推進

護部のみなさん、そして家族の理解と協力ののおかげ」と感謝する。

1977年に北大医学部付属看護学校を卒業後、同大病院に就職。8年には看護部長に就任し、今春の定年退職まで勤めた。先進的な医療を実施する同病院には「難しい病気でも最後まであきらめず闘おうという患者が多く、その気持ちに寄り添い、支援できる看護師であるよう努めてきた」と語る。

看護支援システム構築や教育プログラム作成など、看護部の基盤整備に貢献し、患者と家族の意思を看護計画に反映させる「患者参加型看護」の推進に力を注いだ。発刊に尽力した「患者参加型看護—患者がケアを評価・修正する新しい看護の形」は、全国で同様の看護を実践する病院の資料として活用されている。

6月からは小樽協会病院の看護部長に就任し、これまでの経験を生かした看護部運営に取り組んでいる。